

児童クラブは「子ども真ん中」に。

保護者の声に向き合って

児童クラブ保護者は、学童保育連絡協議会を通じて要望書を市に出しています。開所時間・閉所時間の延長やお昼の提供など、切実な要望の多くが毎年積み残され続けています。どんなに丁寧でも市の立場を説明するだけでは、保護者の意見を聞いたことにはなりません。保護者の声に向き合っ、積極的に児童クラブをより良くしてほしいと質問しました。



障がい児家庭への支援が足りない

移動支援・就学相談の拡充を

「子どもに障がいがあったら働けない？実行委員会」が昨年8月にシンポジウムを行い、私も参加しました。※YouTubeで視聴できません。こちらからどうぞ→→→→市内でもご相談を頂いたことから、一般質問で取り上げました。



東村山市の移動支援は、一般的な通学には使えません（使える自治体もあります）。前向きな答弁はありませんでしたが、引き続き拡充を求めます。障がい児を育てる保護者は、学校等からの呼び出し、兄弟姉妹の具合が悪い時、学校で頑張っている反動で家庭で爆発してしまう・・・等、様々なハードルを抱えています。障がい児・者に対する

公営5児童クラブが民営へ

5つの児童クラブ（栄町児童館第2育成室、第1東萩山児童クラブ、富士見児童館育成室、南台児童クラブ、富士見児童クラブ）が指定管理で民間事業者による運営に変わります。

市は、各児童クラブを巡回してチェックし、保育の質を保つとしていますが、子どもに直接触れ合い、名前を覚え、けんかの仲裁をする学童保育事業を手放してしまったら、学童保育の実態がわからなくなってしまいます。

公設民営（指定管理）では5年ごとに事業者を選びなおすため、保育の継続性が保てません。ケアに関わる労働の軽視は問題です。日本共産党は、児童クラブの指定管理制度の指定議案に反対しました。



支援は不足しています。

SDGsを標ぼうする自治体として、障がい者への支援を拡充し、人権を尊重する姿勢を見せてほしいです。

障がい児・者支援についてのご意見やお感じになられていることがありましたらお聞かせ下さい。



「ガザ攻撃の中止と即時停戦を求める意見書」

意見書では次の2項目を求めていました。 **提出できず**

1. イスラエルに対してガザ攻撃の即時中止を呼びかけること
2. 双方が即時停戦のための交渉のテーブルにつくよう求めること

東村山市議会では、「代表者会議（3人以上の会派が参加できる）において反対する会派がないこと」が、市議会に提案する条件となっています。これは、東村山市議会独自のルールです。

日本共産党が提案したガザ攻撃中止を求める意見書に、自民党・公明党が反対したため、市議会に諮ることも、意見書の提出もできませんでした。

「子育て支援と子どもへの直接的な支援の拡充を求める意見書」

も、自民党・公明党の賛同が得られず、提出できませんでした。

定例の朝宣伝

- 1月 9日（火） 八坂駅
- 15日（月） 武蔵大和駅
- 23日（火） 多摩湖駅

その他

- 1月28日（日） 市政・都政報告会
- 2月 3日（土） 富士見町市政報告会
- 4日（日） 多摩湖町市政報告会
- 10日（土） 超党派議会報告会
- 17日（土） 東村山市議会報告会

ボランティア募集中

- 宣伝でプラスターを持つ
- 宣伝カーに乗る
- ご自宅にポスターを貼る
- チラシ配布・バナー作成